

農地管理課

農地の集団化や担い手農家への集積

担い手農家への集積による農用地の集団化

換地業務

- ◆ 換地業務とは、区画整理、農地造成のような土地の区画を変更する事業にあわせて、工事後の新しい畑や道路、水路などの所有者や耕作者を決め直す事
- ◆ 換地計画原案から換地処分登記までの一連の業務全般
- ◆ 農地中間管理機構との連携による農用地の利用集積（人・農地プランを元に換地計画原案作成）

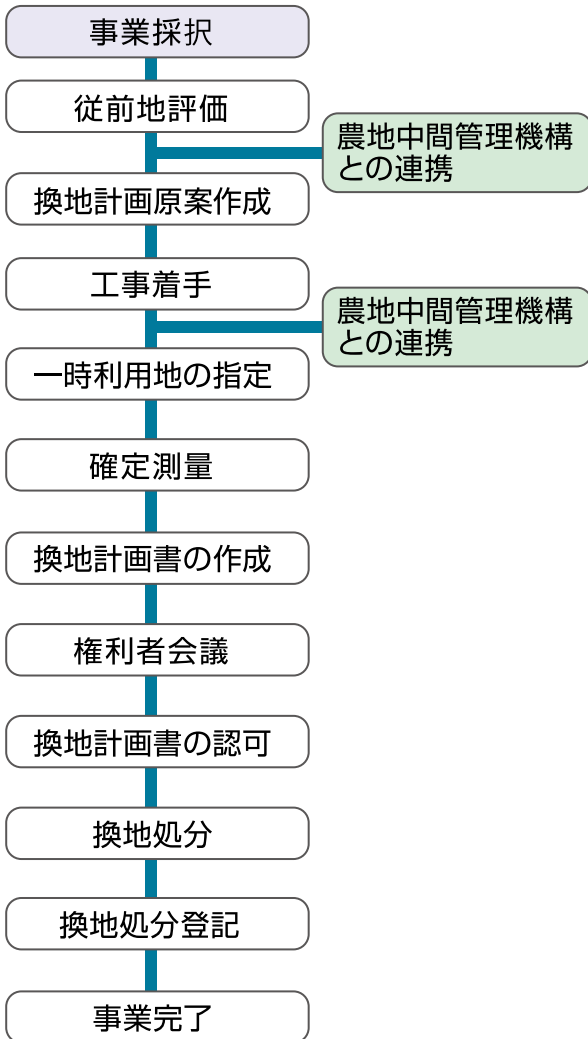
確定測量業務

- ◆ 土地改良事業の換地計画で定められた区画及び耕地の位置、形状、地積の確定、及び境界標の測設
- ◆ 国土調査法第19条第5項認証事務

農道台帳作成業務

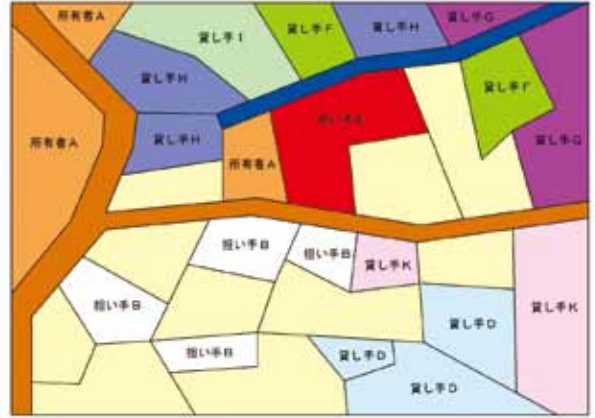
- ◆ 事業により造成された農道の管理台帳の作成

換地作業フロー図



換地手法活用モデル

従前の土地



換地配分作業中



土地改良総

工事前



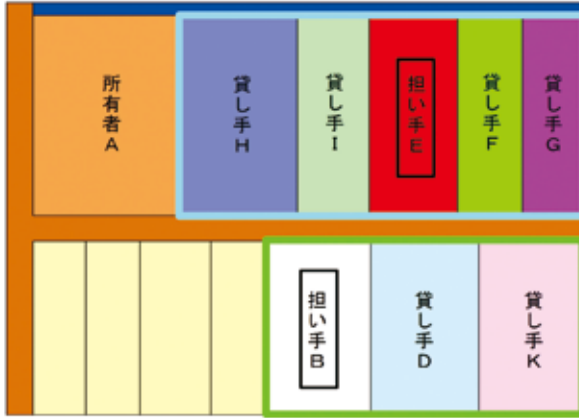
促進を支援します

農地中間管理機構と連携し換地委員会に参加



人・農地プランの話し合いを元に、将来の担い手への農地集積を見据えた換地計画原案を作成します

換地



換地計画原案説明会



工事完了後



合整備事業

工事後



土地改良施設の適切な点検・整備・操

目指そう土地改良施設の長寿命化

土地改良区体制強化事業

I 施設・財務管理強化対策

- 土地改良施設の診断・管理指導
施設の点検・整備・操作等の管理に関する専門技術的な診断・管理指導
- 土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策
- 財務管理強化に関する指導・相談等
複式簿記会計に関する巡回指導
非補助土地改良事業推進支援

II 受益農地管理強化対策

- 換地選定に関する指導
- 換地処分未了地区等の解消に関する指導
- 財産管理制度活用に関する指導
- 交換分合等による農用地の利用集積に関する指導

III 研修・人材育成

- 財務・会計実践向上研修
- 換地等技術向上研修

農道台帳管理業務

- 市町村別の農道台帳の管理業務

土地改良施設の診断・管理指導



ポンプ



給水所

ご存知ですか!?

=非補助農業基盤整備資金=

非補助農業基盤整備資金とは、土地改良区等が国や県の補助を受けないで、かんがい排水や圃場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤の整備、保全の推進を図る場合、沖縄振興開発金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し長期・低利で資金を融資する制度です。

【融資対象事業内容】

- ため池、農業用排水路施設の新設・改良
- 畑地かんがい施設（スプリンクラー）の新設・改良
- 区画整理、客土、暗渠排水路の敷設
- 農道の新設・改良（単独舗装や併せて行う安全施設の設置含む）
- 耕作に支障となる石れきの除去
- 土地改良施設の補修、更新、浚渫等（水路の補改修、土水路のコンクリート敷設、水路や農道の安全施設設置など）
- 農業集落排水整備計画に定められた地域において、補助事業を補完して一体的に実施される事業

【貸付対象者】

土地改良区・土地改良区連合・農業を営む方 等

【貸付利率】

令和4年4月現在（0.2%）ですが、金融情勢により変動します。

【償還期限】

最長25年（うち据置期間10年以内 据置期間は利息だけを支払いいただきます。）

【償還方法】

元利均等償還、元金均等償還のいずれかを選択できます。

作を支援します

土地改良施設維持管理適正化事業

- 補助率：60% (国30%+県30%)
- 負担率：40% (内30%は5ヶ年で均等積立。残り10%は事業実施時に負担)



整備前



整備後



整備前



整備後



整備前



整備後

《農業用施設賠償責任保険の御案内》

土地改良事業で造成された農業用施設の増大とともに、施設の適切な管理が重要な課題となっています。そのような中、土地改良施設が関係した事故も発生し、被害者から施設管理者に対し「損害賠償請求」の訴訟に至った例もあり、管理責任者においては確固たる対応が求められます。本会では、施設内での不測の事故に備えて、少しでもお役に立てるよう「農業用施設賠償責任保険」制度を設け、保険加入に関する事務手続き業務を開設していますので御案内いたします。

1.対象施設及び補償概要

土地改良区等が所有又は管理する用排水路・貯水施設・道路、等

- (1) ガードレールの設置不備等による自動車の転落事故
- (2) ガードネットの設置不備等による用排水路への転落事故
- (3) 貯水施設の安全柵不備等による子供等の転落事故
- (4) 舗装道路に生じた穴に二輪車、通行人の転落事故

2.補償内容

- (1) 人身事故の場合の治療費、入院費、慰謝料、後遺症傷害補償
- (2) 被害者による応急手当、緊急処置等の費用
- (3) 訴訟になった場合の訴訟費用、弁護士費用
- (4) 初期対応を行う為の費用、見舞金・葬祭に要した費用

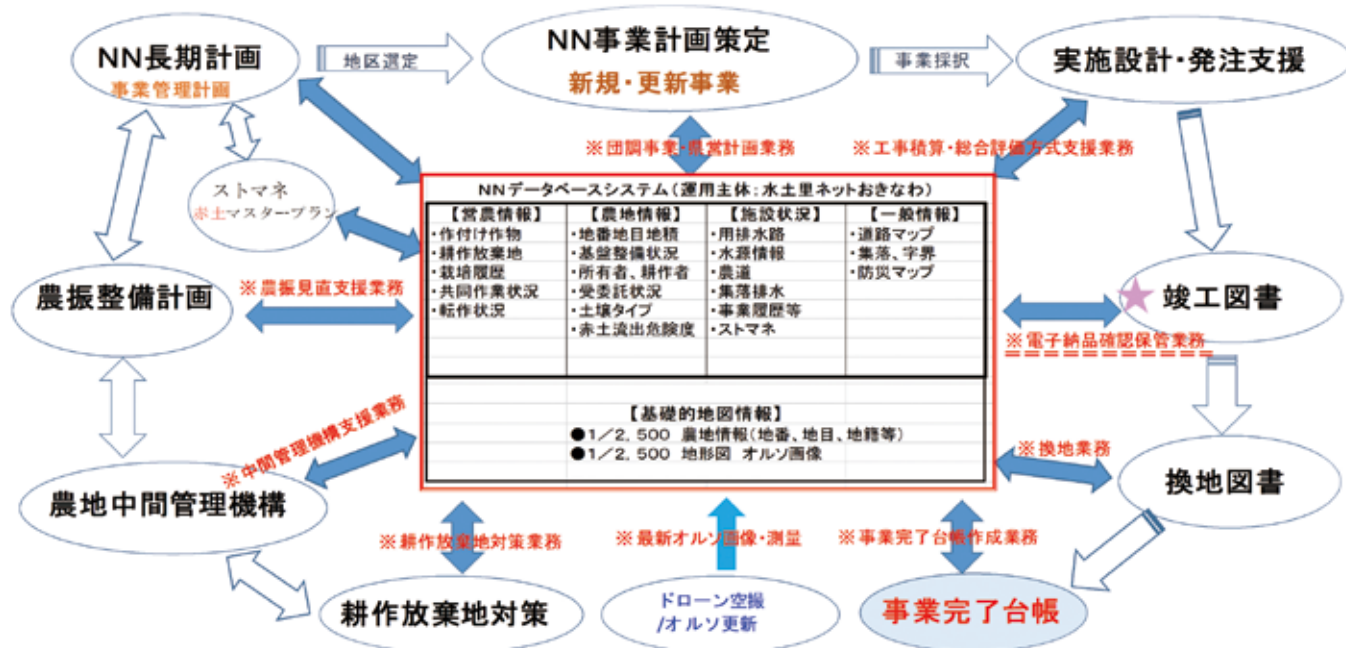
※令和4年度

3.年間保険料

施設名	保険料
用排水路農道	1km当たり 423円
パイプライン	1km当たり 748円
散水施設	1ha当たり 298円
ダム	1,000トン未満/箇所 1,030円
ため池	1,000~5,000トン未満/箇所 5,170円
ファームポンド	5,000~125,000トン未満/箇所 10,330円
	125,000トン以上/箇所 総貯水量×0.1円
ビニールハウス	10㎡当たり 30円

水土里情報システム (GIS) で土地改良施設や農地

水土里情報システムには、これまでに整備した基礎的地図情報に、営農情報、農地情報、施設情報等が随時追加されている。これらの情報とGISシステムの機能を活用して、本会は農業農村整備事業関連情報を一元管理するデータベースセンターの役割を担うこととしている。これらの情報（データ）を活用することにより、国・県・会員（市町村・土地改良区）が行う農業農村整備事業の効率的な実施が可能となる。



●水土里情報システムの目的

- ◆農地や水利施設等に関する地図情報を整備し、農業者等へ広く提供する。
- ◆各種計画業務や農道、ため池、農業用排水施設等の情報、調査結果の集積やシュミレーションハザードマップの作成など、農業分野の様々な業務の効率化を図る。

●整備範囲及び整備データ内容

農業振興地域を持つ沖縄県内の36市町村を対象に以下のデータを整備

- ◆地籍図
- ◆航空写真（25cm解像度）
- ◆地形図（S=1/2,500～S=1/25,000）
- ◆農業振興地域界（総合整備計画書を基に1筆づつ）
- ◆農道（農道網図及び、農道台帳より作成）
- ◆農業水利施設（財産管理台帳・竣工図を基に作成）

●水土里ネットおきなわ農地管理課

データ整備機関、運営・管理・保守などを行う。

※農業農村分野におけるGISの利活用

- 情報整理の高度化・情報検索の迅速化
圃場の情報管理、関連資料のファイリング、事業計画、進捗状況の管理等。
- 情報の共有・相互利用
農業機関での共有。沖縄県・市町村・農業委員会・農協・土地改良区・農業共済・その他農業関係団体
- 視覚的な表示・分布
農地・施設の防災等における分析、事業説明会における農家の理解増進

情報の管理・分析を支援します



水土里情報システムの構成



○農業関連情報の基幹システムとして、農地や水利施設等に関する**地図情報データベース**を、**都道府県単位のまとまりで整備**し、農業者等へ広く提供することにより、農村の振興等を目的とした**多様な取組の円滑な推進**を図ることを目的としています。



農地、基幹水利施設、ため池、農道など、農業関連情報のデジタル化・スタマネ事業への活用

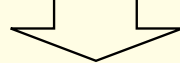


農地集積へのイメージ図
実施前



水土里情報
データベース

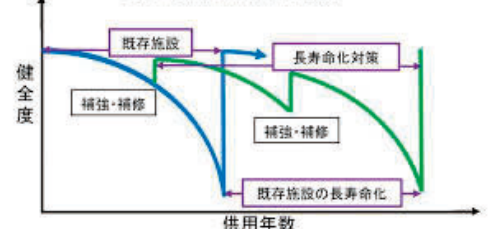
体系的かつ一元的管理



実施後



【劣化予測と長寿命化対策】



調査測量課

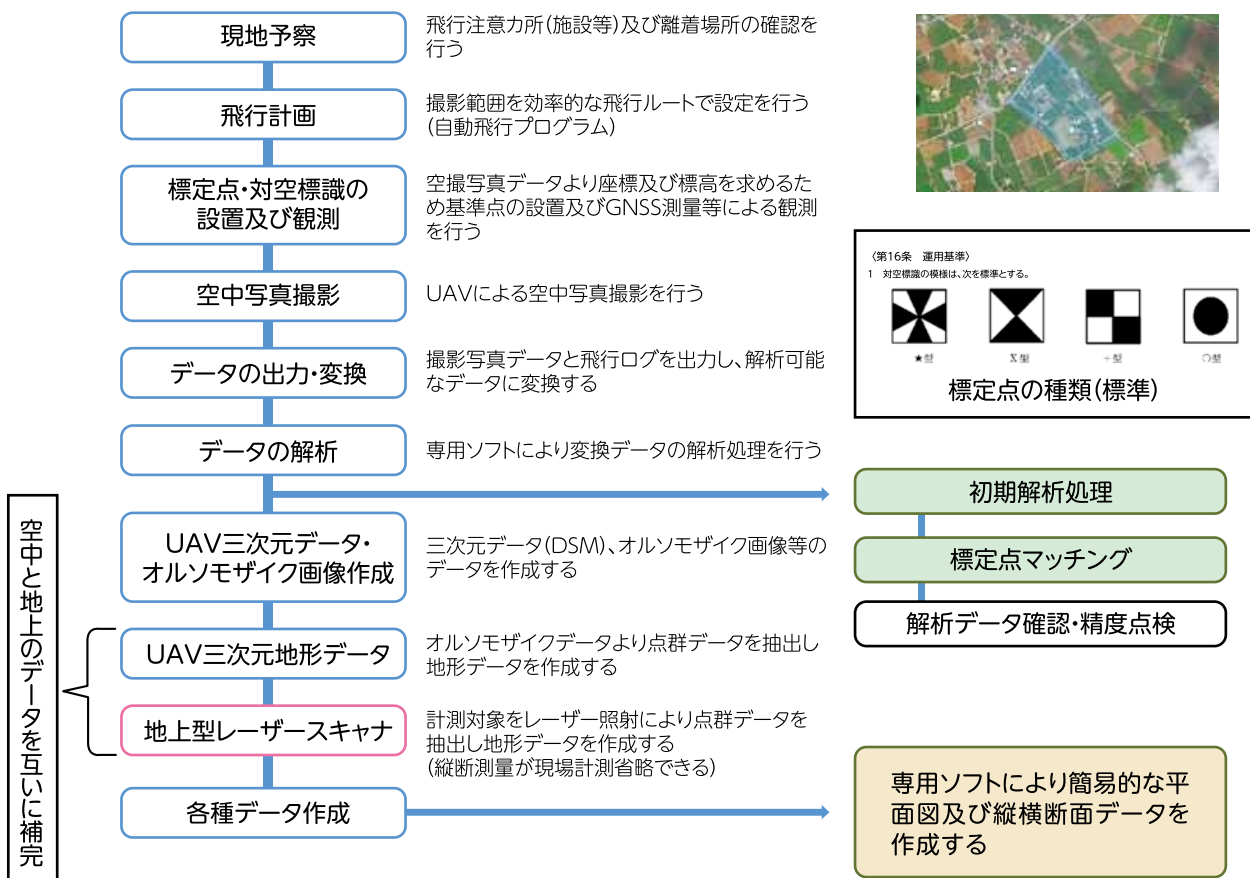
最新技術の導入による精度と効率の向上

★ドローン(UAV)による空中写真及び測量

I. 特徴

1. 高解像度の空中写真及び写真測量を安価、短時間で作成出来ます。
2. 自然災害発生時における現場状況を迅速かつ安全に調査出来ます。
3. 簡易的な平面図、縦横断面図、土量計算などの地形解析が出来ます。

作業手順



【保有機種】



エンルートQC730

機体長：1189mm ローター数：4枚
機体重量：4.5Kg 耐風性：10m/S
最大飛行時間：40分(実飛行は20分)
自動飛行装置・飛行ログ機能有り



DJI PHANTOM4PRO (2機)

機体長：350mm ローター数：4枚
機体重量：1.4Kg 耐風性：10m/S
最大飛行時間：30分(実飛行は20分)
自動飛行装置・飛行ログ機能有り



【保有解析ソフト】

【解析ソフト】

- ・MAGNET Collage
- ・PIX4D
- ・Dron2Map

TOPCON GLS2200 (令和3年度導入)

【特徴】

- ・機械点、後視点法/後方交会法プログラム搭載
- ・360°プリズムにも対応する長距離ターゲットスキャン
- ・スキャンスピード 最大60,000点/秒

Ⅱ. 活 用

最新オルソ画像・三次元データにより多種多様な活用が可能

【調査測量業務】

- ・実施設計測量の補足資料及び簡易的な地形測量



【設計業務】

- ・団調地区の平面図・縦横断面図の作成及び土量計算
- ・説明会資料等の3D計画平面図作成



【換地業務】

- ・従前評価、換地原案作成の基礎資料
- ・一時利用地指定の出来高図作成
- ・換地処分確定図の現地確認資料等



【水土里情報業務】

- ・農地保全の確認、機能発揮状況確認
荒廃地及び遊休地調査、
- ・赤土流出防止対策事業及び各種作物調査

【その他業務】

- ・防災・災害対策調査
- ・農道及び農道付帯施設等の現況調査
- ・構造物老朽化調査、文化財調査
- ・土地改良事業関連の空中撮影

オルソモザイク画像データ



三次元点群データ



★地上型レーザー scannerによる利活用

I. 特徴



観測風景



点群の描写①



点群の描写②

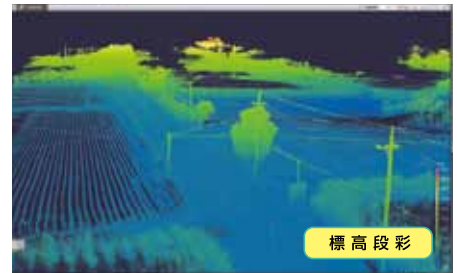
点群の1つの点の持つ情報

- 高精度な点群(座標値XYZ)の取得!
- HDR画像により自然でリアルな3次元データが実現!
- 現場作業の短縮、観測結果をその場で確認可能!
- データの解析がよりスピーディーに!

II. 点群データを活用

地上の特定の位置にレーザー scannerを据え付けて、機体本体が水平方向に360度に回転しながら、高精度かつ高密度な点群を取得します。

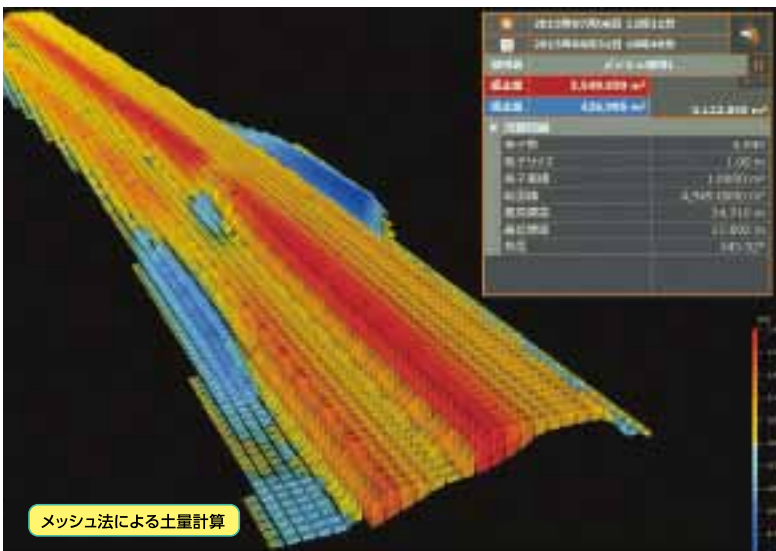
広範囲に“面”の点群を取得するので、平面図、縦断面図、横断面図等、様々な図面を作成することができます。
また、メッシュ法による土量計算も点群で可能です。



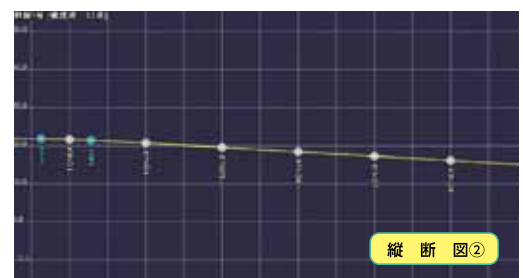
標高段彩



縦断面図①



メッシュ法による土量計算



縦断面図②